PDF版

ご使用上のご注意

ツインバード工業株式会社は、この資料並びにコンテンツの著作権を有しています。
この資料並びにコンテンツは、著作権等の法律で保護されており、お客様はこの資料並びにコンテンツに関し下記の条件でのみ利用することが出来ます。

1. お客様は非営利目的に限り、ダウンロード、および使用することができます。

2. お客様がダウンロード、使用するときは、この著作権表示および使用条件を一緒に付す必要があります。

3. お客様はこの資料並びにコンテンツを改変したり、頒布、公衆送信、上映等に利用することはできません。

当社および当社の関係会社は、お客様に対してこの資料並びにコンテンツに関する著作権、特許権、商標権、意匠権およびその他の知的財産権をライセンスするものではありません。並びに資料およびコンテンツの内容についてもいかなる保証をするものでもありません。
またこの資料、並びにコンテンツ内に別の定めがある場合は、当該著作権の表示、使用条件を遵守する必要があります。

※このコンテンツはＷｅｂ上での使用を前提とし再編集を加えているため、必ずしも製品添付の取扱説明書と同一ではありません。特にページ順は編集上、入れ替えている場合があります。

※この資料並びにコンテンツの内容は、それぞれの商品の発売時点のものです。

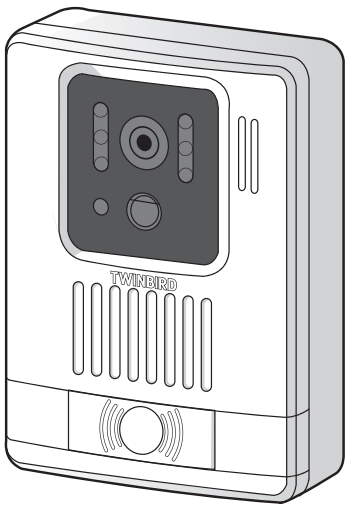
※デザイン、仕様は商品改良のため予告なく変更する場合があります。

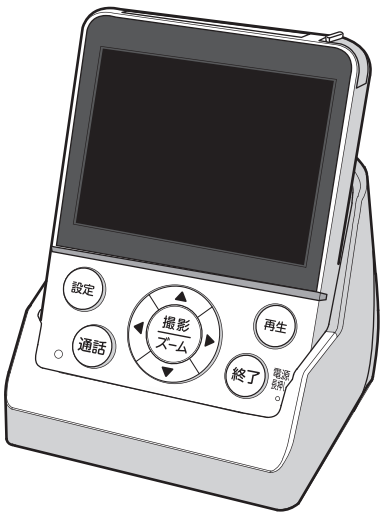
感動をデザインします
TWINBIRD

家庭用

ワイヤレス・テレビドアホン

VC-J570
VXC-957X0
取扱説明書





Ni-MH

- このたびは、お買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- この取扱説明書をお読みいただき、正しくご使用ください。特に「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にご使用ください。
- この取扱説明書は必ず保管し、必要なときにお読みください。
- この製品は一般家庭用です。業務用などではご使用にならないでください。
- 保証書欄は「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ずお確かめください。
- 本製品に故障が発生したときは、販売店にご連絡ください。

本機を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。

This unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

保証書付

保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。必ず記入をお受けください。

LaX1501D

目　次

はじめに

目　次 2
ワイヤレス・テレビドアホンの構成 3
- 玄関カメラ 3
- 屋内モニター 3
- 付属品 3

安全上のご注意 4
使用上のお願い 6
- 玄関カメラについて 6
- 屋内モニターについて 7

各部の名称とはたらき 8
- 玄関カメラ 8
- 屋内モニター 8
- 充電台 9

屋内モニターの電源を入れる 10
- バッテリーパックをセットする 10
- 電源を入れる 10

屋内モニターの画面の見かた 11
屋内モニターの設定を変更する 12
- 設定メニューを表示する 12
- メニュー 一覧 12

日時を設定する 13

取り付ける

玄関カメラを取り付ける 14
- 取り付け位置について 14
- 取り付け方法 15
- 人感センサーについて 16
- 玄関カメラの夜間補助光について 17

屋内モニターを設置する 18
- 充電台を設置する 18
- 屋内モニターを充電する 19

使用する

呼び出しに応答する 20
応答中に屋内モニターの設定を変更する 21
- 画面の明るさを調節する 21
- 受話音量を調節する 21
- 画面をズームする 21

玄関カメラの映像を撮影する 22
- 自動で撮影する 22
- 手動で撮影する 23

撮影した画像を再生する 24
- 画像を消去する 24

その他の機能 25
- 屋内モニターに玄関カメラを登録する 25

こんなときは

バッテリーパックを交換、廃棄する 26
- バッテリーパック（別売品）について 26
- バッテリーパックを交換する 26

お手入れする 27
- 本製品をお手入れする 27
- 本製品を廃棄する 27

ワイヤレス・テレビドアホンの電波について 28
故障かな？と思ったら 29
アフターサービス 30
仕　様 31
- 玄関カメラ 31
- 屋内モニター 31
- 充電台 31

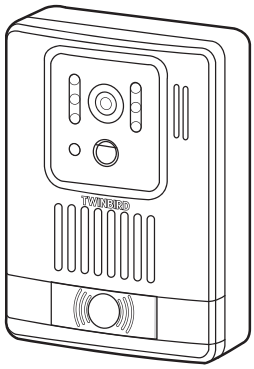
保証書 32

ワイヤレス・テレビドアホンの構成

お買い上げ後は、以下の製品が揃っていることを確認してください。

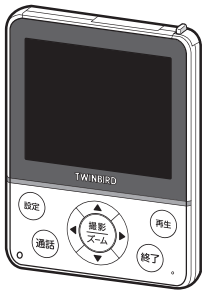
玄関カメラ

VC-J570-OC 型



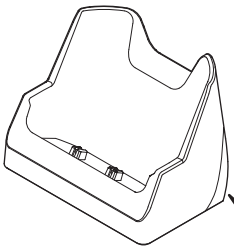
屋内モニター

VC-J570-IM 型



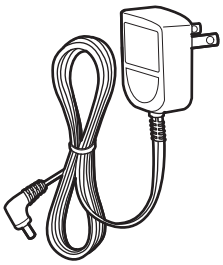
充電台

VC-J570-CC 型



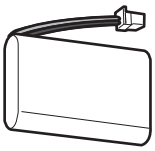
AC アダプター

VC-CH16 型

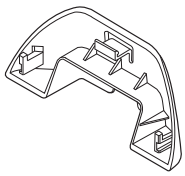


バッテリーパック

VC-BA08NM 型



● 充電台スタンド

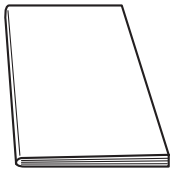


お買い上げ時は、充電台スタンドはセットされていません。
取り付け方法は⇒ 18 ページ「充電台を設置する」を参照してください。

付属品

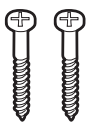
お買い上げ後は、以下の付属品が揃っていることを確認してください。

● **取扱説明書** (保証書付)… **1**



● **木ねじ** …… **2**

玄関カメラ取り付け用



以下の消耗品は付属していません。事前に市販の製品をお買い求めください。

- 単 3 形アルカリ乾電池（玄関カメラ用）× 6
- 充電台取り付け用ねじ（丸木ねじ 3.1mm × 20 ～ 25mm）× 2
  （充電台を壁に取り付ける場合に必要です）

安全上のご注意　必ずお守りください

製品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくご使用いただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

●表示の説明

⚠ 危険	「死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
⚠ 注意	「傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される」内容です。

●図記号の説明

は、してはいけない「禁止」の内容です。

は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠ 警告

本製品を火中に投入しない。
破裂により火災やけがの原因になります。

心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以内の場所では使用しない。
ペースメーカーが、本製品の電波の影響を受ける恐れがあります。

本製品を医療機器の近くで使用しない。
電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与える恐れがあります。
医療機関の屋内では使用しないでください。

雷が鳴り始めたら、アンテナ・AC アダプターに触れない。
感電の原因になります。

長時間ご使用にならないときは、AC アダプターをコンセントから抜き、バッテリーパックや電池を取り出す。
液もれが発生し、故障や火災の原因になります。

電池を取り扱うときは、次のことを必ず守る。
液もれ、発熱、発火、故障などの恐れがあります。もし、液もれしたときは、よくふき取ってから新しい電池を入れてください。万一液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
- 指定された電池を使用する。
- （+）（−）に注意し、指示通りに入れる。
- 火の中に入れたり、ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 使い切った電池や長い間（1 週間以上）使用しないときは、電池を取り出す。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使用しない。

本製品が発熱している、煙が出ている、異臭がしているなどの異常があるときは、すぐに使用を中止する。
使用を中止してお買い上げの販売店までご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

既存のドアホンと本製品を取り替える場合、AC100V の電源配線工事は資格を持つ者が行う。
感電する恐れがあります。
電源配線工事には、電気工事士の資格が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

⚠ 注意
本製品を次のようなところに置かない。 玄関カメラ ・直射日光の当たるところ（故障の原因） ・不安定な場所や、振動・衝撃のあるところ（故障や通話不良の原因） ・鉄粉、ほこり、酸、アンモニア、硫黄、リン、硫化水素、有毒ガスなどが発生するところ（故障の原因） ・背面に水などが直接かかるところ（故障の原因） ・反響の多いところ（通話不良の原因） 屋内モニター ・火気・調理器具の近く（変形や故障の原因） ・直射日光の当たるところ・冷暖房機の正面・冷凍倉庫内（誤作動や変形、故障の原因） ・温度変化の激しいところ（結露による誤動作の原因）
本製品を落としたり、ぶつけたりしない。 故障の原因になります。
本製品の分解や改造、修理などを自分でしない。 故障の原因になります。また、修理時の保障対象外となります。

■バッテリーパックについて

⚠ 危険
専用のバッテリーパック以外は使用しない。 バッテリーパックは本製品以外に接続したり、使用したりしないでください。 液漏れ、発熱、発火、破裂の原因になります。
バッテリーパックは、本製品以外で充電しない。 液漏れ、発熱、発火、破裂の原因になります。
火の中に投入したり加熱したりしない。 電解液が吹き出したり、破裂したりする原因になります。
端子部を針金などの金属で接続したり、金属製ネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしない。 電極がショートすると発火、破裂の原因になります。
取り出したバッテリーパックは充電しない。 破裂、火災の原因になります。
バッテリーパックを分解したり、改造したりしない。 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
バッテリーパックが液漏れしたときは、素手で液を触らない。 液が目に入ったときは、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、直ちに医師に相談してください。液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流し、必要なときは医師に相談してください。
⚠ 警告
1 週間以上充電台から外すときは、屋内モニターからバッテリーパックを取り外す。 バッテリーパックの性能劣化、故障の原因になります。

使用上のお願い

●分解、改造することは法律で禁じられています。故障したときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
●工事費用はすべてお客様のご負担になります。
●本書に従わず、正しく設置されなかった場合などの故障や事故については、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
●使用を中止するときは、万一の落下を防ぐため玄関カメラを壁から取り外してください。

玄関カメラについて

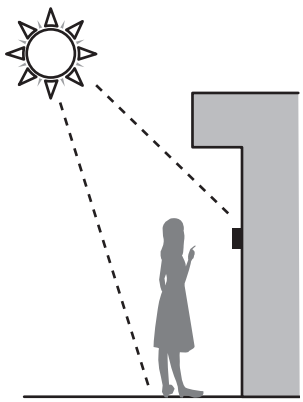
■以下のような場所に取り付けないでください

- 直射日光の当たるところ
- 不安定な場所や、振動・衝撃のあるところ（故障や通話不良の原因）
- 鉄粉、ほこり、酸、アンモニア、硫黄、リン、硫化水素、有毒ガスなどが発生するところ（故障の原因）
- 背面に水などが直接かかるところ（故障の原因）
- 反響の多いところ（通話不良の原因）

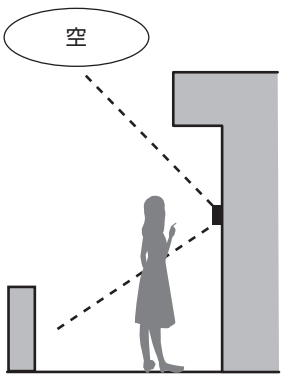
■以下のような場所への取り付けは避けてください

逆光になるところでは来訪者の顔が暗く映り、識別しにくくなることがあります。

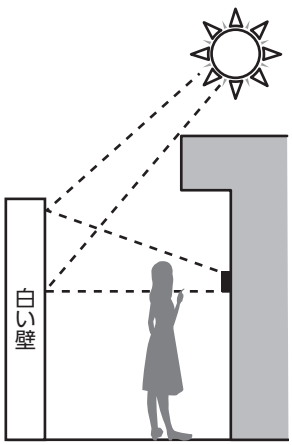
●直接、日光や強い光が当たる場所



●背景に空の占める割合が大きい場所



●正面に白い壁など光が反射しやすい材質の壁がある場所



屋内モニターについて

■ 以下のような場所に設置しないでください

- 火気・調理器具の近く（変形や故障の原因）
- 直射日光の当たるところ・冷暖房機の正面・冷凍倉庫内（誤作動や変形、故障の原因）
- 温度変化の激しいところ（結露による誤動作の原因）

お願い 寒い場所から温かい場所に移動させたときは、しばらく放置してから使用してください。

■ 以下のような場合は使用できないことがあります

- 玄関カメラと屋内モニターの間に障害物がない場合は、見通し直線距離が約 100m 以内で使用できますが、障害物があると電波が届きにくく通話や映像が途切れることがあります。
- 玄関カメラと屋内モニターの間に壁が何枚もある場合
- 鉄筋や鉄骨、土壁を使用した建物で使用した場合
- 玄関カメラと屋内モニターが別の階や別の建物にある場合
- 玄関カメラと屋内モニターの間に以下のような障害物がある場合
  コンクリートの壁／金属製の扉や雨戸／トタンなどの金属製の外壁材／金属箔が含まれる断熱材／金属製の家具など

■ 故障ではありません

玄関カメラから受信する無線電波の状態によっては、屋内モニターで以下のようなことが起こる場合があります。

- 映像が停止する
- 映像が乱れる
- 音声が途切れる

■ プライバシー・肖像権について

本製品の設置や利用については、ご利用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権を考慮の上、行ってください。

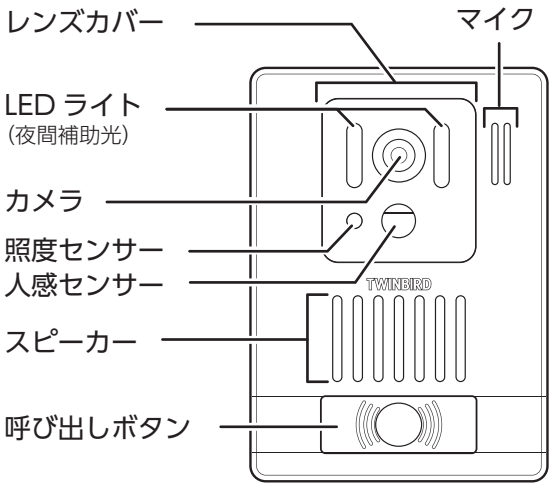
■ 個人情報について

- 屋内モニターの設定で「自動撮影選択」を「オン」にした場合、来訪者映像などの静止画（個人情報）が撮影されます。これらの情報の流出による不測の事態を回避するために、撮影された画像はお客様の責任で管理してください。
- 撮影された画像は、誤操作・故障・修理などの取り扱いによって変化・消失する場合があります。撮影された画像が変化・消失した場合でも、弊社は責任を負えないことがありますので、あらかじめご了承ください。

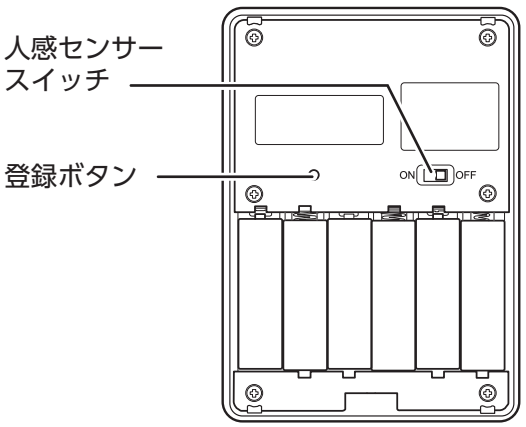
各部の名称とはたらき

玄関カメラ

■正面



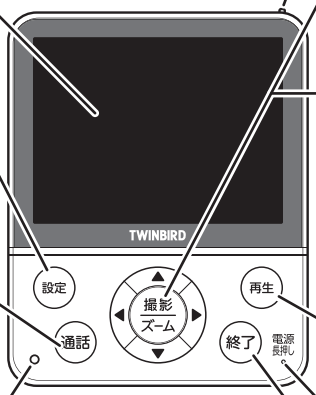
■背面 (カメラケースを外した状態)



屋内モニター

■正面

> ⚠ **注意**
>
> **モニター画面の映像について**
> 玄関カメラが逆光になると、来訪者の顔が暗く映り、識別しにくくなります。



液晶画面
3.5 型カラー 液晶モニター

設定
(スタンバイモード時)
設定モードになります。
(設定モード時)
選択した内容を決定します。

通話
(呼び出し時)
通話を開始します。
(応答中)
通話を保留します。
もう一度押すと通話を再開します。

充電ランプ
充電中は赤色に点灯します。

アンテナロック
外側に引くとアンテナが立ち上がります。

撮影 / ズーム
(応答中)
静止画を撮影します。
2 秒以上押し続けるとズーム画面になります。

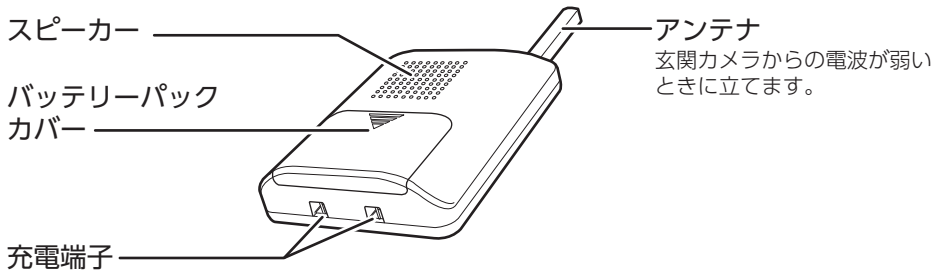
カーソル (▲▼◀▶)
(スタンバイモード時/呼び出し時/応答中)
画面の明るさや受話音量を調節します。
(設定モード時)
メニューを選択します。
(ズーム中)
ズーム位置を移動します。

再生
撮影した静止画を再生します。
新規撮影画像があると緑色に点滅します。

マイク

終了
応答を終了します。
電源 (入) …… 3 秒長押し
電源 (切) …… 5 秒長押し

■背面

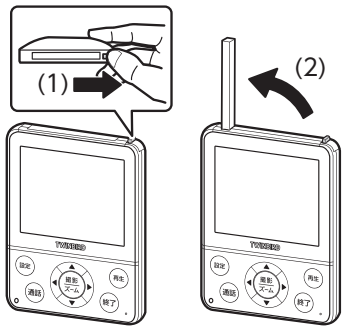


■アンテナを立てる・しまうときは▶▶▶

● アンテナを立てる

(1) アンテナロックを外側に引く

(2) ロックが外れたらアンテナを起こす

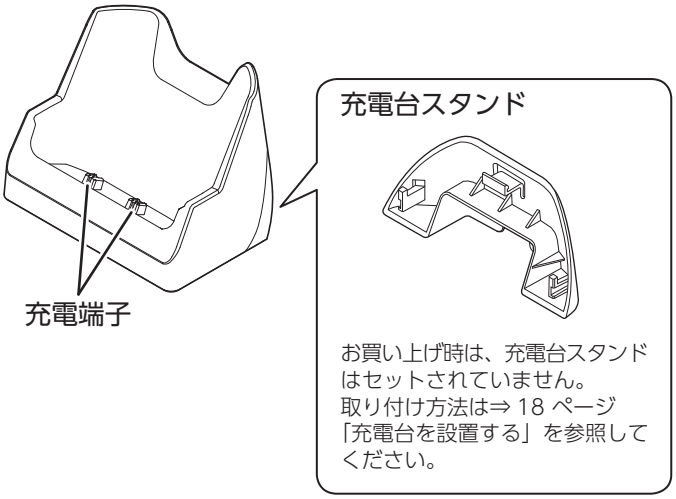


● アンテナをしまう

アンテナを「カチッ」と音がするまで倒す

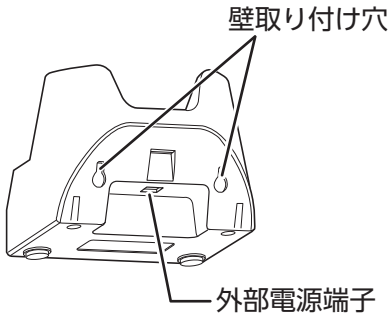
充電台

■正面



■背面

(充電台スタンドを外した状態)



屋内モニターの電源を入れる

バッテリーパックをセットする

お買い上げ時は、屋内モニターにバッテリーパックはセットされていません。
はじめに付属のバッテリーパックをセットしてください。

> **⚠注意**
> ・バッテリーパックをセットする、取り外す、交換する、または本製品を廃棄するとき以外はバッテリーカバーを開けないでください。
> ・バッテリーパックを使用しないと動作しません。

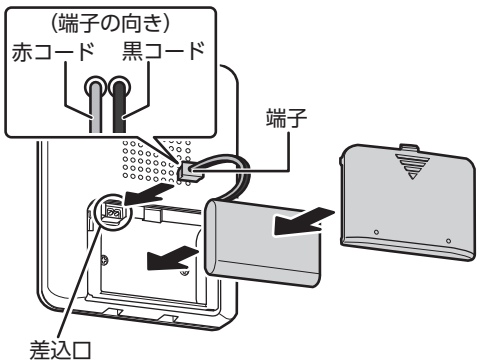
1. バッテリーパックカバーを外す

2. 付属のバッテリーパックを入れる

(1) 端子を、本体の差込口に根元まで確実に差し込む
右図の「端子の向き」に差し込みます。
逆向きには差し込めません。

(2) バッテリーパック本体をはめ込む

(3) カバーで挟まないようにコードを収納する

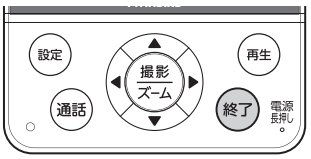


3. バッテリーパックカバーを取り付ける

電源を入れる

1. 【終了】ボタンを 3 秒以上押し続ける

起動画面が表示され、続いてスタンバイモード画面が表示されます。



● スタンバイモードについて

- 約 15 秒間操作しないと画面表示が消え、待機状態になります。
  再度スタンバイモード画面を表示するときは、いずれかのボタンを押します。
- 玄関カメラから呼び出しがあると、玄関カメラの映像に切り替わります。

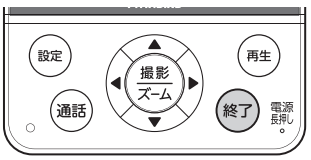
> **お知らせ**
> ・初めて電源を入れたときは日時を設定してください。
> 設定方法は⇒ 13 ページ「日時を設定する」を参照してください。
> ・バッテリーパックの残量がなくなった場合、約 20 分以上充電してから電源を入れて使用してください。日時の設定はリセットされます。再度、設定してください。設定方法は⇒ 13 ページ「日時を設定する」を参照してください。
> 撮影した画像は消去されません。

■電源を切るときは▶▶▶

> **⚠注意**
> 電源を切ると、玄関カメラからの呼び出しに応答できなくなります。

1. スタンバイモード画面で【終了】ボタンを 5 秒以上押し続ける

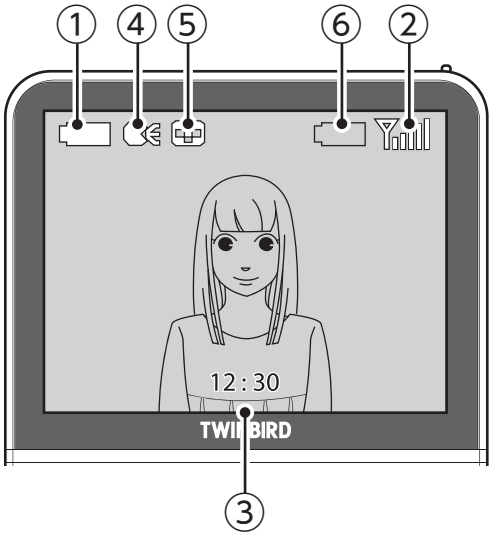
画面表示が消えたら、ボタンから手を離します。



屋内モニターの画面の見かた

■スタンバイモード画面

■応答画面／再生画面



① 屋内モニター電池残量表示

屋内モニターの電池残量の目安が表示されます。

残量が▭になったら充電してください。

※ 約 15 時間充電（満充電）したときに使用できる時間の目安
（使用環境温度が 20℃の場合）
・連続通話時間：約 2 時間
・連続待受時間：約 25 時間

② 電波強度表示

玄関カメラからの電波の状態が 6 段階で表示されます。

③ 時刻表示

現在の時刻が表示されます。
画像を再生しているときは、撮影した年月日・時刻が表示されます。

④ 通話モード表示

通話中に表示されます。

⑤ ズームモード表示

画面をズームしたときに表示されます。

⑥ 玄関カメラ電池残量表示

玄関カメラの電池残量が残り少なくなると表示されます。

電池寿命の目安
・1 年
（気温が 20℃の場合）
1 回の通話が 20 秒で
1 日 5 回使用したとき

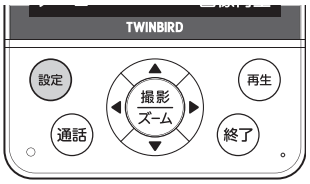
お知らせ スタンバイモード画面で約 15 秒間操作しないと画面表示が消え、待機状態になります。

屋内モニターの設定を変更する

設定メニューを表示する

受話音量や画面の明るさの変更、日時の設定など屋内モニターの設定を変更できます。
画面の表示が消えているときは、いずれかのボタンを押してから操作してください。

1. スタンバイモード画面で【設定】ボタンを押す

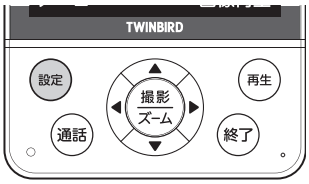


メニュー画面が表示されます。

2. 【▲】または【▼】ボタンを押して、設定する項目を選択する

選択中の項目は強調表示されます。

3. 【設定】ボタンを押す



選択されている項目の設定画面が表示されます。

【再生】ボタンを押すと 1 つ前の画面に戻り、【終了】ボタンを押すとスタンバイモード画面に戻ります。
約 15 秒間操作しないと、スタンバイモード画面に戻ります。

メニュー 一覧

音量

受話音量を９段階で調節します。
【▶】：音量を大きくします。
【◀】：音量を小さくします。
【設定】：決定します。
【再生】：キャンセルします。

明るさ

屋内モニター画面の明るさを９段階で調節します。
【▶】：明るくします。
【◀】：暗くします。
【設定】：決定します。
【再生】：キャンセルします。

日時

年月日時を設定します。
日時設定の詳細と設定方法は「日時を設定する」を参照してください。
⇒ 13 ページ

操作音

操作音を鳴らす、鳴らさないを設定します。
【▲】/【▼】：「オン」(鳴らす)、「オフ」(鳴らさない)を選択します。
【設定】：決定します。
【再生】：キャンセルします。

※お買い上げ時は「オン」に設定されています。

自動撮影選択

自動撮影をする／しないを設定します。撮影モードの詳細と設定方法は「玄関カメラの映像を撮影する」を参照してください。
⇒ 22 ページ

※お買い上げ時は「オン」に設定されています。

撮影枚数

自動撮影のときの撮影枚数を設定します。撮影モードの詳細と設定方法は「玄関カメラの映像を撮影する」を参照してください。
⇒ 22 ページ

※お買い上げ時は「1 枚」に設定されています。

初期化

お買い上げ時の設定（初期値）に戻します。撮影した画像もすべて消去されます
【▲】/【▼】：「実行」、「中止」を選択します。

【設定】：初期化の確認画面が表示されます。
もう一度【設定】ボタンを押すと初期化します。
【再生】：キャンセルします。

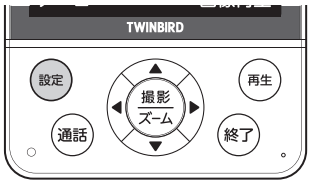
カメラの登録

屋内モニターに玄関カメラを登録します。登録方法の詳細は「屋内モニターに玄関カメラを登録する」を参照してください。
⇒ 25 ページ

日時を設定する

屋内モニターの画面下部に、現在の時刻が表示されます。また、撮影した画像を再生している場合は画像の撮影年月日・時刻が表示されます。日時の設定方法は以下のとおりです。

1. 日時設定画面を表示する



(1) スタンバイモード画面で【設定】ボタンを押す。
(2) 【▲】または【▼】ボタンを押して「日時設定」を選択する。
(3) 【設定】ボタンを押す。

2. 日時を設定する

【▶】: 次の項目に移動します。(時▶分▶年▶月▶日)
【◀】: 前の項目に移動します。(時▶日▶月▶年▶分)
【▲】: 数値を大きくします（押し続けると連続して数値が大きくなります)。
【▼】: 数値を小さくします（押し続けると連続して数値が小さくなります)。

(1) 「時」を設定する
「時刻」の左 2 桁が選択された状態で、
【▲】または【▼】を押して数字を選択します。次に【▶】を押します。

(2) 「分」を設定する
「時刻」の右 2 桁が選択された状態で、
【▲】または【▼】を押して数字を選択します。次に【▶】を押します。

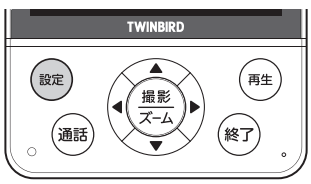
(3) 「年」を設定する
「日付」の上段が選択された状態で、
【▲】または【▼】を押して数字を選択します。次に【▶】を押します。

(4) 「月」を設定する
「日付」の下段の左 2 桁が選択示された状態で、
【▲】または【▼】を押して数字を選択します。次に【▶】を押します。

(5) 「日」を設定する
「日付」の下段の右 2 桁が選択された状態で、
【▲】または【▼】を押して数字を選択します。

● 変更した日時をキャンセルするとき
- 【再生】ボタンを押すと、メニュー画面に戻ります。
- 【終了】ボタンを押すと、スタンバイモードになります。

3. 変更した日時を反映する



(1) 【設定】ボタンを押す
設定した日時が反映され、メニュー画面に戻ります。

玄関カメラを取り付ける

⚠警告

既存のドアホンと本製品を取り替える場合

本製品は電源配線工事は不要ですが、既存のドアホンには電源（AC100V など）が接続されていることがあります。電源が接続されている場合は、必ず電気工事士の資格を持つ方が工事してください。

⇨電源配線工事には電気工事士の資格が必要です。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

取り付け位置について

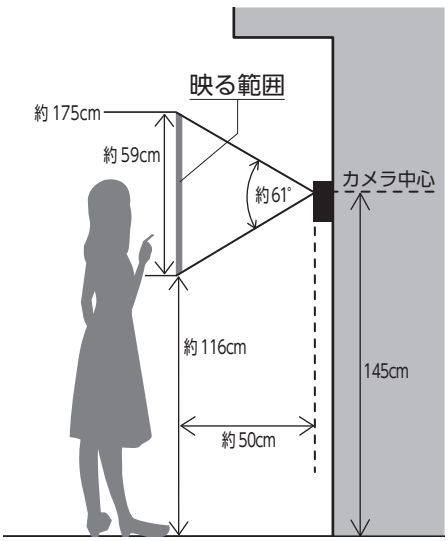
お願い

- 玄関カメラの取り付け位置を決めたら、取り付ける前に通話を試し、取り付け場所の電波状況に問題がないか（音の途切れや画像の乱れがないか）を確認してください。
  通話の方法は⇒ 20 ページ「呼び出しに応答する」を参照してください。
- カメラケースの取り付け穴は軟質材でふさがれています。付属ねじであらかじめ穴を開けてから取り付けてください。

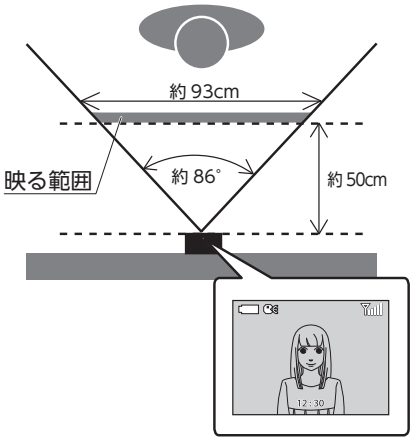
■標準位置（高さ 145cm）に取り付ける場合

玄関カメラを取り付ける位置は、以下の図を参考にしてください。

● 横から見た図



● 上から見た図



取り付け方法

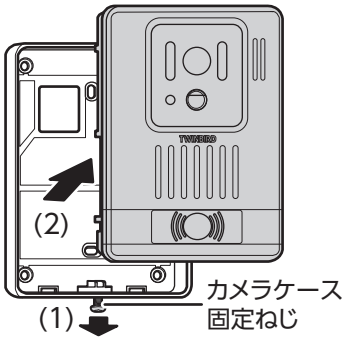
玄関カメラに使用する乾電池は付属していません。市販の単 3 形アルカリ乾電池を 6 本用意してください。

1. カメラケースを外す

(1) プラス（+）ドライバーでカメラケース底面のカメラケース固定ねじを緩める

(2) カメラケースから玄関カメラ本体を外す

お知らせ カメラケース固定ねじは脱落防止構造のため、カメラケースからは外れません。



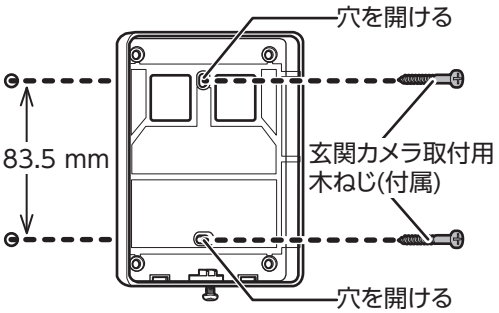
2. カメラケースを壁に取り付ける

注意 カメラケースを取り付けるときに、ねじを締めつけすぎないでください。変形や破損の原因になります。

(1) 地面に対して垂直でたいらな場所に穴を開ける

(2) カメラケースの取り付け穴にあらかじめ穴を開ける

(3) カメラケースを取り付ける

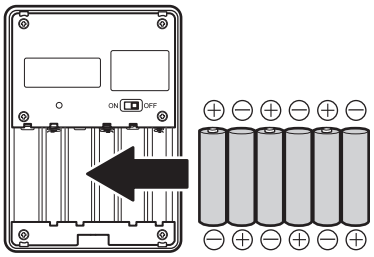


3. 乾電池を入れる

注意
- 単 3 形アルカリ乾電池以外の乾電池を使用しないでください。液漏れや発熱による故障の原因になります。
- 古い電池と新しい電池を混用しないでください。

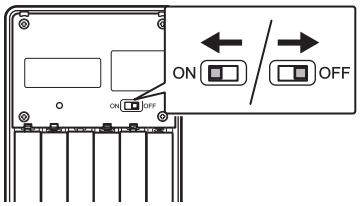
(1) 玄関カメラ背面の電池ボックスに、乾電池を入れる

＋と－を確認して正しく入れてください。



4. 人感センサーの「ON」／「OFF」を選択する

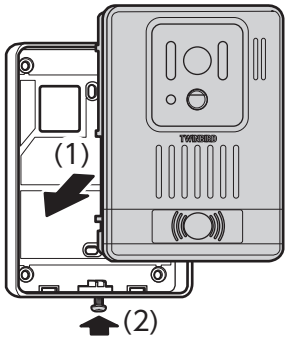
玄関カメラ背面の【人感センサースイッチ】を、「ON」または「OFF」にします。
人感センサーの詳細は⇒ 16 ページ「人感センサーについて」を参照してください。



5. 玄関カメラを固定する

(1) 壁に取り付けたカメラケースに玄関カメラ本体をはめ込む

(2) プラス（+）ドライバーでカメラケース底面のカメラケース固定ねじを締める



人感センサーについて

人感センサーを「ON」にすると、センサー範囲内で人の動きが 10 秒以上続いたときに、自動で以下の動作をします。

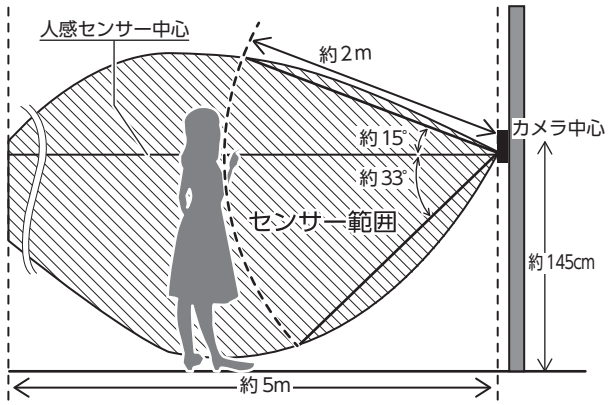
- 玄関カメラの映像を屋内モニターの画面に表示する
- 「自動撮影選択」を「オン」にしている場合、設定枚数（1 ～ 3 枚）の静止画を撮影する

お知らせ | 人感センサーが反応しても、呼び出し音は鳴りません。

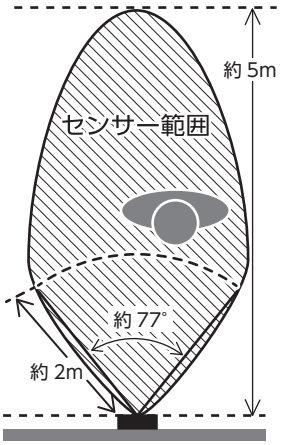
■標準位置（高さ 145cm）に取り付けた場合のセンサー範囲

玄関カメラを取り付ける位置は、以下の図を参考にしてください。

● 横から見た図

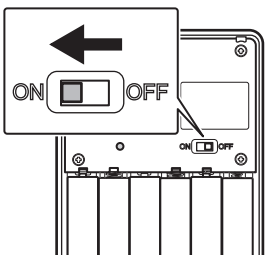


● 上から見た図



■人感センサーを「ON」にする

1. 玄関カメラ本体の背面にある【人感センサースイッチ】を「ON」にする



■人がいないのに人感センサーが反応するとき

- 車やヘッドライトなど、温度が高いものがセンサー範囲に入ると、外気温度との温度差が激しいため検知して反応することがあります。
  ⇨車道に面していない場所に設置してください。
- 風で動くような、植物や洗濯物などがセンサー範囲に入ると検知して反応します。
  ⇨センサー範囲に風で動くようなものを置かないでください。
- 人感センサーはセンサー範囲内にいる人や動物など、温度を持つものから自然放射される赤外線による温度変化を検知して反応します。
- 雨や雪が降っているとき検知して反応する場合があります。

■ 以下のような場所では、誤作動で反応することがあります ▶▶▶

- 直射日光の当たる場所
- 冷暖房室外機の近くなど、温度変化の激しいところ
- 外 (街) 灯の真下など、周囲の温度が高くなるところ
- 火気・熱器具の近く
- 強い磁気や電波を発生するものの近く
- ガラスなど、温度変化の検知を妨げたり、反射したりするような障害物があるところ
- 温度に影響するような強い発光物 (蛍光灯など) があるところ
- 冬場など気温が低い場合は、検知感度が高くなることがあります。

■ センサーが反応しにくいとき ▶▶▶

- 人感センサーの表面が汚れていませんか？
  ⇨表面を柔らかい布に水を含ませ、固く絞ってふいてください。
  お手入れ方法の詳細は⇒ 27 ページ「お手入れする」を参照してください。
- 人感センサーに対して垂直に移動する（奥から手前、または手前から奥）ものは、検知しにくくなります。

■ センサーが反応しないとき ▶▶▶

⚠注意

- 人感センサーは、常に高い信頼性を求められる用途（監視など）には適していません。常に高い信頼性を求められる用途には、人感センサーを使用しないでください。
- 人感センサーを使用することによって生じた事故などについて、当社はその責任を負いかねます。

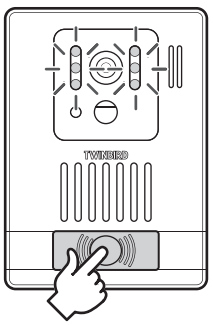
- 人感センサーが「OFF」になっていませんか？
  ⇨人感センサーを「ON」にしてください。
- ガラスなど温度変化の検知を妨げたり、反射するような障害物がありませんか？
  ⇨障害物を取り除いてください。障害物を取り除けない場合は、適切な場所に設置し直してください。
- 外気温度が人の表面温度に近いときは検知しにくくなります。
  また、外気温度の低い冬場に厚手の服を着ていると検知しにくくなります。
  温度変化を検知して反応するため、外気温度と人の温度変化が小さいと検知しにくくなります。

玄関カメラの夜間補助光について

夜間などの周囲が暗いときに【呼び出しボタン】が押されたり、人感センサーが反応したりすると、映像を見やすくするために玄関カメラの LED ライトが点灯します。

お知らせ

昼夜にかかわらず、玄関カメラの周囲が暗い場合は LED ライトが点灯します。

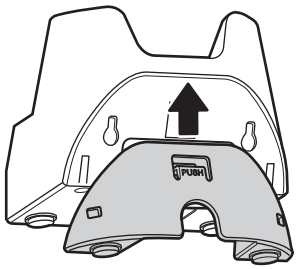


屋内モニターを設置する

充電台を設置する

お願い | 充電台は、たいらで安定した場所に設置してください。

1. 充電台スタンドを充電台に取り付ける

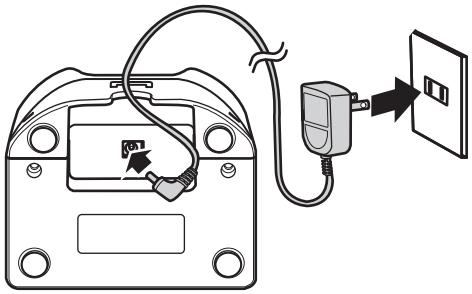


2. AC アダプターを充電台に接続する

AC アダプターの出力プラグを充電台の外部電源端子に根元まで確実に差し込み、コードを背面から通します。

3. AC アダプターをコンセントに差し込む

AC アダプターの電源プラグを根元まで確実にコンセントに差し込みます。



■充電台を壁に取り付けて使用する場合は▶▶▶

充電台を壁に取り付けて使用する場合は、市販のねじ（丸木ねじ 3.1mm × 20 ～ 25mm）を 2 本用意してください。

⚠注意

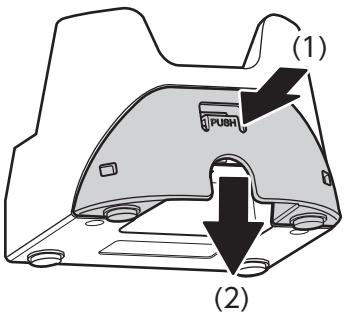
- 壁に取り付ける場合は、以下の点に注意してください。
  - 充電台が落下しないように確実に取り付ける
  - 壁と充電台の間に AC アダプターのコードが挟まらないようにする
- 以下のような、強度を保てない場所に取り付けないでください。落下による破損やけがの原因になります。
  石こうボード／ ALC（軽量気泡コンクリート）／コンクリートブロック／厚さ 18mm 以下のベニヤ板など強度の低い壁

1. 通話を試す

充電台を取り付ける前に通話を試し、取り付け場所の電波状況に問題がないか（音の途切れや画像の乱れがないか）を確認してください。
通話の方法は⇒ 20 ページ「呼び出しに応答する」を参照してください。

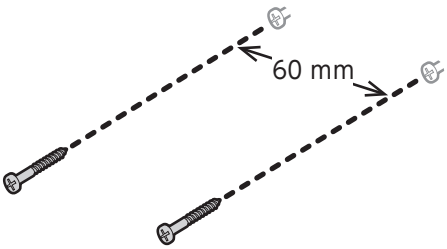
2. 充電台スタンドを取り外す

(1) 充電台の背面にある「PUSH」を押しながら、
(2) 下側に引いて取り外す



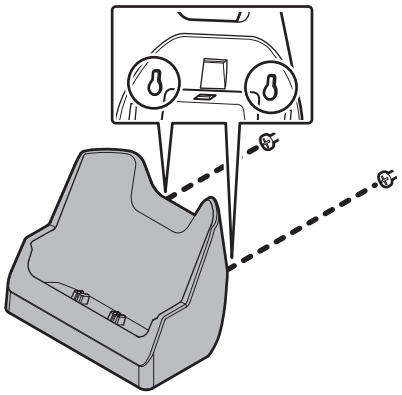
3. 壁に木ねじを取り付ける

木ねじを 60mm の間隔で水平に取り付けます。



4. 充電台を取り付ける

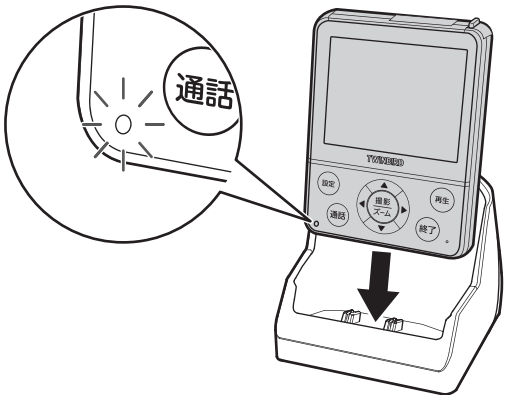
壁に取り付けた木ねじに、充電台の背面の壁取り付け穴（2 箇所）をかけて押し下げます。



屋内モニターを充電する

1. 屋内モニターを充電台にセットする

屋内モニターの充電ランプが赤色に点灯します。
最長 15 時間でバッテリーパックが満充電になります。



お知らせ

満充電になっても充電ランプは消灯しません。
この状態のままでもバッテリーパックに影響はありません。

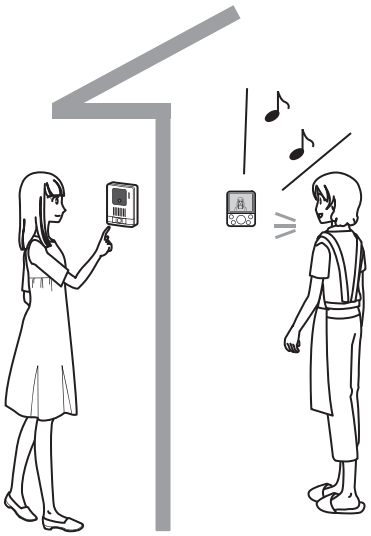
- 充電端子が汚れたときは、乾いた布でふいてください。
- バッテリーパックの性能維持と電池の消耗防止のため、以下の場合は屋内モニターからバッテリーパックを取り外してください。
  - 屋内モニターを、充電台から 1 週間以上外す場合
  - AC アダプターを、1 週間以上取り外す場合
- 使用を再開するときはバッテリーパックを元に戻し、充電してから使用してください。バッテリーパックの取り付けかたは⇒ 10 ページ「バッテリーパックをセットする」を参照してください。

呼び出しに応答する

1. 玄関カメラからの呼び出しを確認する

玄関カメラの【呼び出しボタン】が押されると、
呼び出し音が鳴って玄関カメラの映像が屋内モニターの画面に表示されます。

「自動撮影選択」を「オン」にしている場合は、「撮影枚数」で設定した枚数分の静止画が、約 3 秒間隔で自動的に撮影されます。



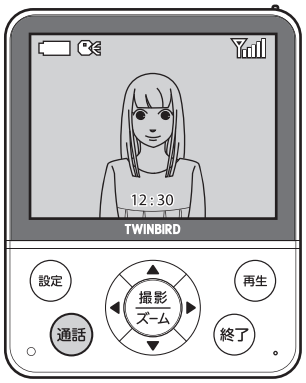
2. 呼び出しに応答する（相手と話す）

【通話】ボタンを押します。

- 画面に が表示されます。
- 連続で約 60 秒間、玄関カメラ側の相手と通話できます。
  ※切り忘れによる電池の消耗を防止するため、
  通話は 60 秒で終了します。

続けて通話する場合は、【通話】ボタンを押してください。

呼び出し音が鳴ってから 150 秒以上たつと、玄関カメラとの通信は自動で終了します。

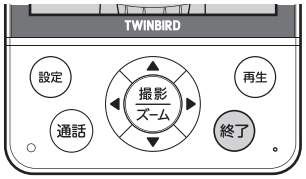


応答中に保留にするときは

【通話】ボタンを押します。画面の が消えます。
もう一度【通話】ボタンを押すと通話を再開します。

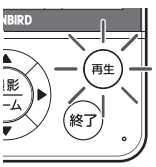
3. 応答を終了する

屋内モニターの【終了】ボタンを押します。



お知らせ

- 自動撮影機能をオンにしている場合は、自動で静止画を撮影します。自動撮影機能の詳細は⇒ 22 ページ「自動で撮影する」を参照してください。
- 留守中などで呼び出しに応答しなかった場合に新たに撮影された画像があるときは、【再生】ボタンが緑色に点滅してお知らせします。



応答中に屋内モニターの設定を変更する

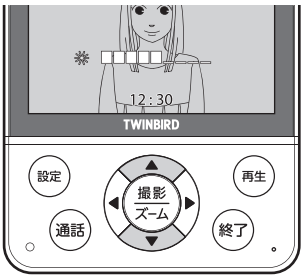
画面の明るさを調節する

応答中にモニター画面の明るさを変更できます。

1. 応答中に【▲】／【▼】ボタンを押す

9 段階で調節できます。

・【▲】：画面を明るくします。
・【▼】：画面を暗くします。



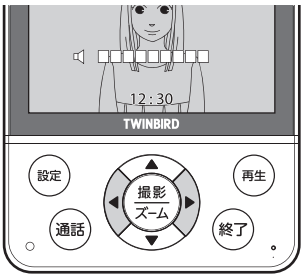
受話音量を調節する

応答中に受話音量を変更できます。

1. 応答中に【◀】／【▶】ボタンを押す

9 段階で調節できます。

・【▶】：音量を大きくします。
・【◀】：音量を小さくします。

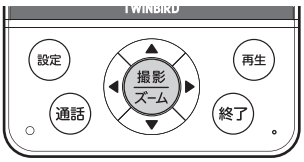


画面をズームする

応答中にモニター画面の一部分をズームして表示できます。

1. 応答中に【撮影 / ズーム】ボタンを **2 秒以上**押し続ける

ズームされたら【撮影 / ズーム】ボタンから手を離します。



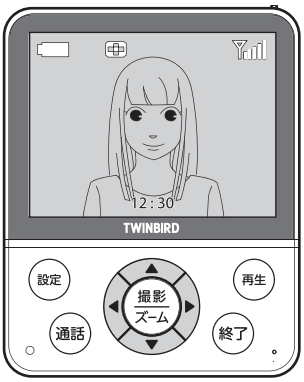
2. 【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで表示位置を移動する

ズームの表示位置を移動できます。

・【▲】：表示位置を上に移動します。
・【▼】：表示位置を下に移動します。
・【▶】：表示位置を右に移動します。
・【◀】：表示位置を左に移動します。

ズームを解除するときは

【撮影 / ズーム】ボタンを 2 秒以上押し続けます。



玄関カメラの映像を撮影する

玄関カメラの映像を静止画で撮影できます。最大で 50 枚撮影できます。

⚠注意

プライバシー・肖像権について

本製品の設置や利用については、ご利用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権を考慮の上、行ってください。

個人情報について

- 【自動撮影選択】を「オン」にした場合、来訪者映像などの静止画（個人情報）が撮影されます。これらの情報の流出による不測の事態を回避するために、撮影された画像はお客様の責任で管理してください。
- 撮影された画像は、誤操作・故障・修理などの取り扱いによって変化・消失する場合があります。撮影された画像が変化・消失した場合でも、弊社は責任を負えないことがありますので、あらかじめご了承ください。

自動で撮影する

「撮影枚数」で設定した枚数分の静止画を以下のときに自動で撮影します。

- 玄関カメラの【呼び出しボタン】が押されたとき
- 【人感センサースイッチ】が「ON」の場合に人や動くものを感知したとき

お買い上げ時、「自動撮影選択」は「オン」に設定されています。

■自動撮影選択を「オン」にする

1. スタンバイモード画面で【設定】ボタンを押す
2. メニュー画面で「自動撮影選択」を選択し、【設定】ボタンを押す

3. 【▲】／【▼】ボタンを押して「オン」を選択し、【設定】ボタンを押す

■撮影枚数を設定する

お買い上げ時、「撮影枚数」は「1 枚」に設定されています。

1. スタンバイモード画面で【設定】ボタンを押す
2. メニュー画面で「撮影枚数」を選択し、【設定】ボタンを押す

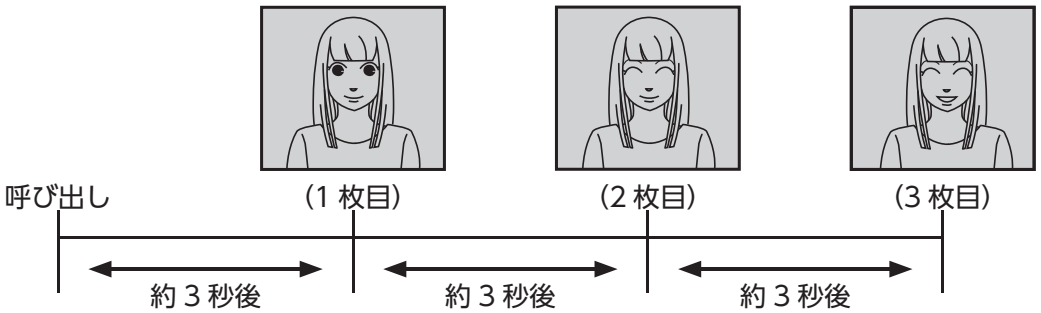
3. 【▲】／【▼】ボタンを押して枚数を選択し、【設定】ボタンを押す

■自動撮影のタイミング

玄関カメラの【呼び出しボタン】が押されてから約 3 秒ごとに「撮影枚数」で設定した枚数分の静止画を撮影します。

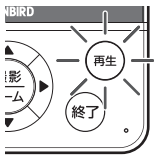
撮影枚数の設定方法は⇒ 22 ページ「撮影枚数を設定する」を参照してください。

撮影枚数が 50 枚を超えたときは、最も古い画像から自動的に削除されます。



お知らせ

留守中などで呼び出しに応答しなかった場合は、【再生】ボタンが点滅して新たに撮影された画像があることをお知らせします。

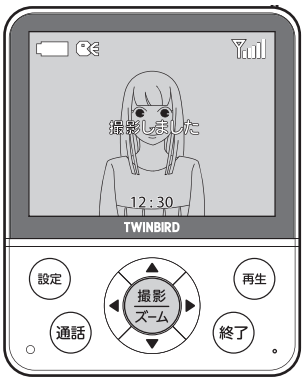


手動で撮影する

応答中はいつでも、手動で玄関カメラの映像を撮影できます。

1. 応答中に【撮影 / ズーム】ボタンを押す

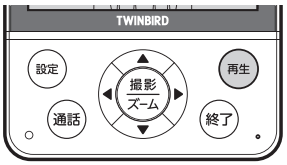
1 枚撮影されます。画面に「撮影しました」と表示されます。
【撮影 / ズーム】ボタンを押すたびに撮影します。



撮影した画像を再生する

お知らせ 留守中などで呼び出しに応答しなかった場合に新たに撮影された画像があるときは、屋内モニターの【再生】ボタンが緑に点滅してお知らせします。

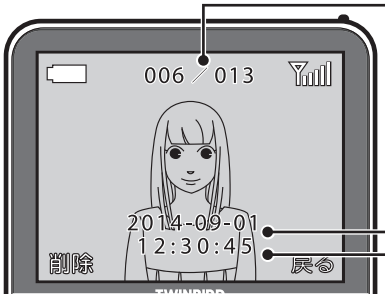
1. 屋内モニターの【再生】ボタンを押す



最新の画像が表示されます。

- 【▶】ボタンを押すたびに、新しい画像が表示されます。
- 【◀】ボタンを押すたびに、古い画像が表示されます。

● 再生画面の見かた



枚目／全体枚数
撮影した画像の総数と、表示中の画像が何枚目かを表示します。

撮影年月日
表示中の画像の撮影年月日を表示します。

撮影時刻
表示中の画像の撮影時刻を表示します。

■再生を終了するときは

1. 【終了】または【再生】ボタンを押す

スタンバイモード画面に戻ります。
約 15 秒間操作しなかった場合もスタンバイモード画面に戻ります。

画像を消去する

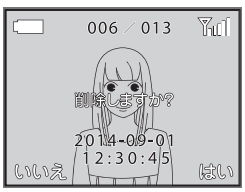
再生中の画像を 1 枚消去できます。

1. 【再生】ボタンを押す

最新の画像が表示されます。

2. 【◀】または【▶】ボタンを押して、消去する画像を表示する

3. 【設定】ボタンを押す

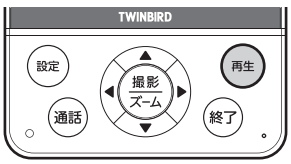


画面に「削除しますか?」と表示されます。
消去した画像は元に戻せません。消去前に画像を確認してください。

消去をやめるときは

ここで【設定】ボタンを押します。

4. 【再生】ボタンを押す



表示していた画像が消去され、再生画面に戻ります。引き続き画像を消去するときは、手順 2 ～ 4 を繰り返してください。

屋内モニターに玄関カメラを登録する

玄関カメラまたは屋内モニターを修理・交換したときは、屋内モニターに玄関カメラを登録（ペアリング）する必要があります。お買い上げ時は登録済みの状態です（登録不要です）。

1. 屋内モニターから玄関カメラを検索する

(1) 屋内モニターの【設定】ボタンを押し、メニュー画面を表示する

(2) 【▲】または【▼】ボタンを押し、「カメラの登録」を選択する

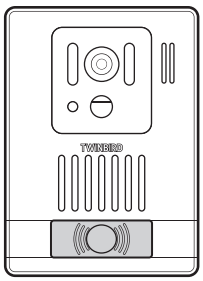
(3) 【設定】ボタンを押す

(4) もう一度、【設定】ボタンを押す

屋内モニターの画面に「検索中」と表示されます。
登録する玄関カメラの検索を開始します。

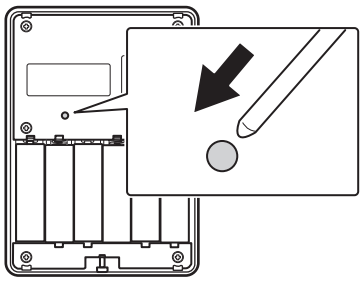
2. 玄関カメラの【呼び出しボタン】を押す

屋内モニターの画面には、引き続き「検索中」と表示されています。



3. 屋内モニターの画面に「検索中」と表示されてから 20 秒以内 (呼び出し音が鳴っている間) に玄関カメラの【登録ボタン】を 5 秒以上 押し続ける

屋内モニターの画面に「OK!!!」と表示され、
登録が完了します。



お知らせ

- 玄関カメラ・屋内モニターの増設はできません。
- 20 秒以内に登録が完了しなかった場合は、以下の動作でお知らせします。
  ・屋内モニターの画面から「検索中」が消える
  ・屋内モニターから「ピーッピーッ」というエラー音が鳴る
  その場合は、もう一度最初からやり直してください。
- 詳しくは「お客様サービス係」にお問い合わせください。

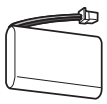
バッテリーパックを交換、廃棄する

バッテリーパック（別売品）について

●屋内モニターに内蔵されているバッテリーパックは、充放電を繰り返すと容量が低下します。充放電可能な回数は周囲温度や使用時間などで変わります。

●充電しても使用できる時間が短かったり電源が入らなかったりするときは、バッテリーパックの寿命です。新しいバッテリーパックをお買い求めください。

バッテリーパックの購入については「お客様サービス係」までご相談ください。
バッテリーパックは消耗品ですので、保証期間内でも無料修理の適用外となります。

製造番号	製品名	価格（送料別）	
VC-BA08NM	バッテリーパック（1 個）	￥1,000（税抜）	

・2015 年 1 月 現在の価格です（変更することもあります）。
・消費税法の改正により消費税を含まない価格を表示しています。
※お支払額は消費税を含んだ金額となります（小数点以下は四捨五入となります）。

お客様サービス係
(フリーダイヤル) 0120−337−455
FAX (0256) 93−1077
お電話承り時間:平日（月曜〜金曜）午前9時〜午後5時
〒959-0292 新潟県燕市吉田西太田2084-2

バッテリーパックを交換する

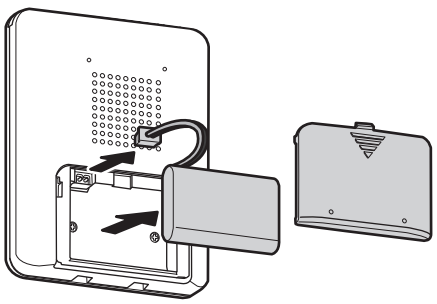
⚠注意
・バッテリーパックを交換する、または本製品を廃棄するとき以外はバッテリーパックカバーを開けないでください。
・バッテリーパックを使用しないと動作しません。

1. バッテリーパックカバーを外す

2. 端子を抜く

3. バッテリーパックを取り外す

新しいバッテリーパックの取り付けかたは
⇒ 10 ページ「バッテリーパックをセットする」を参照してください。



お知らせ
・バッテリーパックを交換すると日時の設定がリセットされます。再度、設定してください。設定方法は⇒ 13 ページ「日時を設定する」を参照してください。
・バッテリーパックを交換しても、撮影した画像は消去されません。

■古いバッテリーパックはリサイクルへ▶▶▶

Ni-MH

・この製品はニッケル水素充電池を使用しています。
・ニッケル水素充電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
・不要になったバッテリーパックや使用済みの製品から取り出したバッテリーパックは、端子部にテープを貼るかポリ袋に入れ、絶縁してからお近くのリサイクル協力店にある充電式電池回収 BOX に入れてください。

お手入れする

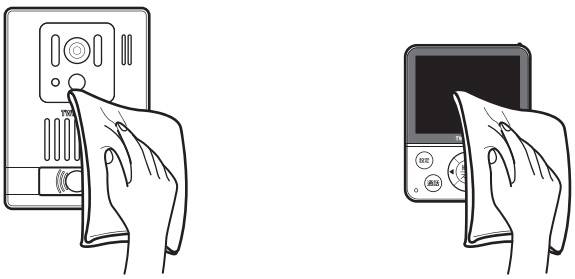
本製品をお手入れする

お願い	・お手入れにアルコール類・磨き粉・粉石けん・ベンジン・シンナー・ワックス・石油・熱湯などを使用しないでください。 ・殺虫剤・ガラスクリーナー・ヘアスプレーなどを吹きかけないでください。変色・変質の原因になります。 ・本製品をお手入れするときは、充電台のACアダプターをコンセントから抜いてください。

■玄関カメラと屋内モニターのお手入れ

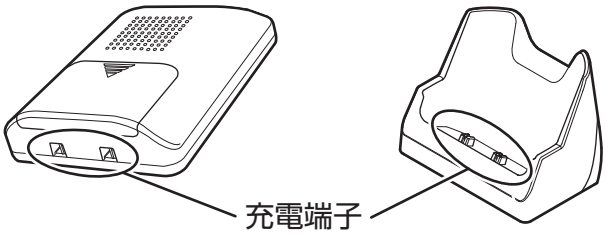
⚠注意	玄関カメラのレンズカバーや屋内モニターの液晶画面を強くこすらないでください。キズや破損の原因になります。

汚れがひどいときは、柔らかい布に水を含ませ、固く絞ってやさしくふいてください。



■屋内モニターと充電台の充電端子のお手入れ

月に一度、充電端子を乾いた布や綿棒でふいてください。充電端子が汚れていると、充電する時間が長くなったり充電できなかったりすることがあります。



本製品を廃棄する

お客様固有の情報の流出による不測の損害などを回避するため、本製品を廃棄するときは屋内モニターを初期化して、撮影したすべての画像を消去してください。

初期化の方法は⇒ 12 ページ「初期化」を参照してください。

■古いバッテリーパックはリサイクルへ▶▶▶

Ni-MH

・この製品はニッケル水素充電池を使用しています。
・ニッケル水素充電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
・不要になったバッテリーパックや使用済みの製品から取り出したバッテリーパックは、端子部にテープを貼るかポリ袋に入れ、絶縁してからお近くのリサイクル協力店にある充電式電池回収 BOX に入れてください。

ワイヤレス・テレビドアホンの電波について

本製品は 2.4GHz の周波数帯域を使用します。この周波数帯域を使用する他の機器との電波干渉を避けるために、下記事項をお読みの上、ご使用ください。

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家庭用電気機器・IT・産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許が必要）、特定小電力無線局（免許が不要）、およびアマチュア無線局（免許が必要）が運用されています。

ご使用の前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、およびアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

本製品の使用により、万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに玄関カメラの電池を外し、屋内モニターの電源を切ってください。その上で「お客様サービス係」にご連絡いただき、混信回避のための処置（例えばパーティションの設置など）についてご相談ください。

その他、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合や、ご不明な点がございましたら、「お客様サービス係」までお問い合わせください。

- 本製品は日本国内でのみご使用いただけます。
- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けております。無線局の免許は必要ありません。
- 以下の行為は、法律で禁じられています。
  - 分解や改造を行う
  - 玄関カメラと屋内モニターに付いているラベルを消す・はがす
- 玄関カメラと屋内モニターの表示について

この無線機が 2.4GHz 帯を使用し、変調方式がその他の方式、与干渉距離が 80m 以内、2.400GHz ～ 2.4835GHz の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを表します。

- 玄関カメラと屋内モニターの間に障害物がない場合は見通し直線距離約 100m 以内での使用が可能です。玄関カメラと屋内モニターの間に障害物がある場合や、建物の構造などによって電波が届きにくくなり、使用可能な距離が短くなる場合があります。
- 他の機器との影響
  Bluetooth 搭載機器、無線 LAN・Wi-Fi を使用する機器、デジタルコードレス電話、電子レンジなど、本製品と同じ 2.4GHz 帯の電波を使用する機器の影響によって音声や映像が途切れることがあります。同様に、本製品の電波がこれらの機器に影響を与える可能性があるため、干渉しあう機器同士は離して設置してください。

故障かな？と思ったら

	こんなときは	原因と対策
画面	玄関カメラの映像で人の顔が暗く映る	逆光になる位置に玄関カメラを取り付けると、人の顔が暗く映り、識別しにくくなります（故障ではありません）。 逆光にならない場所に設置し直してください。 ⇒ 6 ページ
画面	映像がぼやける 焦点が合わない	玄関カメラのレンズカバーが汚れていませんか？ 玄関カメラのレンズカバーが結露していませんか？ 柔らかい布でふいてください。 ⇒ 27 ページ
画面	モニター画面の映像が白っぽい 白い筋や輪が表示される	太陽光などの強い光が玄関カメラのレンズに当たっていませんか？ 直接、玄関カメラに強い光が当たると見えにくくなる場合があります (故障ではありません)。 強い光が直接当たらない位置に設置してください。 ⇒ 6 ページ
画面	画面全体がちらつく	玄関カメラの近くに蛍光灯などの照明がありませんか？ 周囲の照明によって画面がちらつくことがありますが、故障ではありません。
画面	画面が真っ暗で何も映らない	屋内モニターの充電が切れていませんか？ 屋内モニターを充電してください。 ⇒ 19 ページ
画面	モニター画面の映像が乱れる	近くで電子レンジや無線 LAN などを使っていませんか？ これらの機器から離して使用してください。 ⇒ 28 ページ
音	音声が途切れる	
音	玄関カメラからの呼び出し音が鳴らない	玄関カメラの乾電池が切れていませんか？ 玄関カメラの乾電池を新しいものに交換してください。 ⇒ 15 ページ
充電	充電台に置いても充電ランプが点灯しない	AC アダプターが、コンセントや充電台から外れていませんか？ コンセントや充電台に AC アダプターを根元まで確実に差し込んでください。 ⇒ 18 ページ 屋内モニターが、充電台に正しく置かれていますか？ 正しく置くと、屋内モニターの充電ランプが赤く点灯します。 ⇒ 19 ページ 充電端子が汚れていませんか？ 屋内モニターと充電台の充電端子を、乾いた布や綿棒でふいてください。 ⇒ 27 ページ
充電	充電しても数回使うと充電切れになる	バッテリーパックの寿命です。 新しいバッテリーパックに交換してください。 ⇒ 26 ページ
動作	正しく操作しても動かない 動作がおかしい	動作がおかしいときはバッテリーパックを入れなおして、もう一度操作してください。 それでも改善しない場合は、お買い上げの販売店または「お客様サービス係」にご相談ください。

アフターサービス

1. 保証書

- 保証書は「お買い上げ日」と「販売店名」の記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 保証書をよくお読みになり大切に保管してください。

2. 保証期間

- お買い上げ日から 1 年間です。
  なお、保証期間中でも有料修理になることがありますので保証書をよくお読みください。

3. 修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をお確かめいただき、なお異常があるときは AC アダプターを抜いてからお買い上げの販売店または「お客様サービス係」に修理をご相談ください。

- 保証期間中の修理
  保証書の規定により無料修理します。製品に保証書を添えてお買い上げの販売店または「お客様サービス係」までお申し出ください。
- 保証期間がすぎている修理
  修理により使用できる製品は、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。
  お買い上げの販売店または「お客様サービス係」にご相談ください。

4. 補修用性能部品の最低保有期間

- このワイヤレス・テレビドアホンの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後 5 年です。
- 性能部品とは、その製品の機能を保持するために必要な部品です。

5. アフターサービスについてご不明の場合

お買い上げの販売店または「お客様サービス係」にお問い合わせください。

お客様サービス係
(フリーダイヤル) 0120−337−455
FAX (0256) 93−1077
お電話承り時間:平日(月曜〜金曜)午前9時〜午後5時
〒959-0292 新潟県燕市吉田西太田2084-2

〈修理料金のしくみ〉
修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品の修理および部品交換などの作業にかかる料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

〈修理部品について〉
修理部品は、部品共有化のため、一部仕様や外観色などを変更する場合があります。

愛情点検

★長年ご使用のワイヤレス・テレビドアホンの点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか。	ご使用中止
●ＡＣアダプターやプラグが異常に熱くなる。 ●コードを動かすと通電したりしなかったりする。 ●こげくさい臭いがする。 ●ＡＣアダプターに深いキズや変形がある。 ●電池から液もれしている。 ●いつもより、電池が熱くなっている。 ●電池の端子部にさびが発生している。 ●その他の異常、故障がある。	故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずし、必ず販売店にご連絡ください。点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。

仕　様

玄関カメラ　VC-J570-OC 型	
電源	単 3 形アルカリ乾電池× 6 本（別売）
外形寸法（約）	幅 98 ×奥行 45 ×高さ 140mm
製品質量（約）	235g（電池含まず）
使用環境条件	周囲温度：-10℃～ +50℃ ／ 湿度：90% 以下（結露なきこと）
防水性能	IPX4/ 防沫形
取付方法	露出型
最低被写体照度	1 ルクス
夜間照明方法	白色 LED
動画表示枚数	25 枚 / 秒
電池寿命（約）	1 年 ※以下の条件で使用した場合 ・1 日の使用回数：5 回 ・1 回の通話時間：約 20 秒 ・使用環境温度：約 20℃ ・人感センサー ／ LED ライト：OFF

屋内モニター　VC-J570-IM 型	
電源	ニッケル水素充電池（3.6V 800mAh）
外形寸法（約）	幅 85 ×奥行 29 ×高さ 115mm
製品質量（約）	180g（バッテリーパックを含む）
使用環境条件	周囲温度：0℃～ +40℃ ／ 湿度：90% 以下（結露なきこと）
画面表示	3.5 型 TFT　カラー液晶ディスプレイ
無線通信方式	2.4GHz　GFSK/FHSS
使用時間（約）*1	連続通話時：2 時間 ／ 連続待受時：25 時間 ※約 15 時間充電（満充電）した場合で、使用環境温度が約 20℃のとき
充電時間（約）	15 時間
使用可能距離（約）	100m（見通し直線距離）

充電台　VC-J570-CC 型	
電源	DC 6V（AC アダプター付属）
外形寸法（約）	幅 98 ×奥行 78 ×高さ 71mm（充電台スタンド使用時）
製品質量（約）	80g（充電台スタンドを含む）

*1 使用時間は周囲温度 20℃で連続使用したときの目安です。使用条件 (音量、明るさ等) や周囲湿度により変動します。バッテリーパックは使用と充電を繰り返すと使用時間が短くなります。

●本製品で市販の充電式電池の充電はできません。

●本製品は、日本国内用に設計・販売されています。電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。海外での修理や製品販売などのアフターサービスも対象外になります。

●仕様、外観などは予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。